

平成21年度の学校評価

<p>前年度の 重点目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・組織及び個人の両面におけるコンプライアンスの徹底 ・世代や領域を越えた多くの人との出会いと様々な体験の場の提供と活用 ・生徒の可能性を引き出し、能力を最大限に伸ばす教員と生徒間の信頼関係の醸成 ・学習不振、学校不適応など問題を抱えた生徒についての日常的な情報交換と組織的対応 ・的確で迅速な情報の発信 ・安全で快適な教育環境の整備 		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
<p>学習指導 （教務部） （教科会） （学年会）</p>	<p>①65分授業の充実と授業改善 ②個々の生徒に合った学習法の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を充実させてよりよい教材の開発と精選を進め、情報を共有する。 ・「学習案内」の活用を図る。 ・「授業感想アンケート」や「学習状況等総合調査」の結果を活用し、生徒の意識の変化や学習面での問題点について職員間で問題意識を共有し、その解決策を検討し改善に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した実践的な学習計画に沿って学習が進められているが、その反省を次年度へきちんと伝える工夫が必要である。 ・各教科で授業法や教材研究は年々改善されているが、全校的な情報の共有という点ではまだ十分なものとは言えない。職員間で日常的に情報交換を図る工夫が必要である。
<p>生徒指導 （生徒指導部） （学年会） （保健部）</p>	<p>①基本的な生活習慣の確立 ②学校安全の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料を活用して遅刻過多者の指導を行う。 ・学年の傾向を把握し、学年会との連携を図る。 ・遅刻が多発する時期には、集中的な指導を実施して指導効果を高める。 ・身だしなみ指導期間を設定して生徒の自覚を促し、指導の組織化を図る。 ・保護者との連携を図り、理解と協力を得る。 ・交通安全LTや広報活動を実施し、交通事故統 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の欠席、遅刻について統計資料を作成し、遅刻や欠席状況について学年会と連携を図った。遅刻者ノンの早朝登校などの指導により、本年度目標の遅刻指数2.0以下を達成することができた。 ・式典を利用して身だしなみ指導を実施した。指導該当者は学年会と生徒指導部との連携によって組織的な指導を行うことができた。また、入学式や二者懇談を通して身だしなみについて保護者に学校の方針を伝えることで保護者との連携が図られ、理解と協力を得ることができた。 ・生徒交通委員が交通安全マップを作成し、生徒の目線に合った交通安

	③教育相談の推進	<p>計を活用して危険箇所を把握し注意を与える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行う。 ・検査を通して予防的な教育相談活動を研究し、集団としての精神健康度を向上させる。 ・生徒の精神的健康状況や不適応生徒についての職員理解を高める。 ・学年会、養護教諭との連携を強化して職員に不適応生徒の理解を促し、組織的な対応を図る。 	<p>全指導を行うことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員とPTAとの連携を図ることができ、交通安全指導日を設けて危険箇所の街頭補導を行うことができた。 ・クレペリン検査等の検査結果や学年会からの情報収集により、生徒相談協議会では活発に議論することができた。そのため、早期に不登校傾向生徒を把握して早めの対応ができたケースもあった。 ・スクール・カウンセラーの導入により、生徒や保護者が専門の先生に相談ができ、専門機関の紹介を受けて問題解決の糸口を掴むことができた。
進路指導 (進路指導部) (学年会)	<p>①進路選択能力の育成と進路目標の設定</p> <p>②自分を活かせる進路設計</p> <p>③進路目標の堅持と幅広い視野の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路LT」の充実を図る。「進路たより」による情報の発信を図る。 ・各種の大学説明会を実施する。 ・生徒面談と進路検討会を利用して一貫性のある進路指導を心掛ける。 ・より高い進路目標を設定させ、実現に向けて努力させる。 ・校内実力テスト、土曜講座、補習授業の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路からの情報発信として「進路たより」を発行し生徒の意欲向上に利用できたがまだ定期的には発行できなかった。次年度は前年までの「進路たより」を改善し定期的に発行する。 ・より高い志望を持たせ学校としての一貫した生徒指導ができた。次年度も同じような指導体制でのぞむ。 ・土曜講座、補習授業はかなり充実してきたが一部教員の負担も多く土曜講座、補習授業などの改善を図る。
部活動・生徒会活動 (生徒会部) (学年会)	<p>①部活動の充実</p> <p>②生徒の力で作り上げる生徒会行事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・顧問会議と部長会議を有効に活用し、各部の顧問や部長の間での連絡調整を密にして、バランスの取れた部活動のあり方を目指す。 ・生徒会執行部を中心とした指導体制を確立させ、 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館改修に伴い、体育館を使用できない時期があったが、顧問の尽力により外部施設を使用する等して活動は維持された。総体尾張支部総合では男子が3年連続優勝を達成し、結果を残すことができた。また、学習との両立は今後とも留意していきたい。 ・後期で執行部の成立が遅れたものの、前後期とも生徒会行事は係の尽

		<p>教員の適切な指導の下に企画・運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校祭等でこれまで培ってきたものを継承・改善させ、各担当のリーダーを育成する。また、生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。 	<p>力により滞りなく実施できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事を運営する側、参加する側の両面での積極性を涵養していきたい。
<p>学校図書館 (図書部)</p>	<p>①情報の収集と発信の強化</p> <p>②図書委員会活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の読書実態を継続的に把握する。 ・情報の収集に努める。 ・「図書館たより」の定期的な発行を目指す。 ・図書委員三役と職員との連絡を密にし、図書委員会活動を活発にする。 ・図書委員会による図書館企画行事を成功させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している読書調査、および、今年度貸出統計により、大まかな実態把握はできた。生徒の中学時代の読書状況も把握できるとよい。 ・「図書館たより」の発行は毎月できたが、広報活動としてはまだまだ不十分であり、来年度も活動の重点の一つとして取り組みたい。 ・図書館の各企画・活動は、図書委員三役を中心に概ね成功裏に終えることができた。職員側からの働きかけで、図書委員はよく動いてくれる。タイムリーでこまめな情報提供を行えば、より活潑な活動になると思われる。
<p>学校保健 (保健部)</p>	<p>①美化活動の充実</p> <p>②保健教育の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃、大掃除を通して校内美化の徹底を図る。校内外美化活動、スノコ清掃、側溝清掃の充実を図る。 ・ゴミの分別、減量、リサイクルの意識をより一層高めさせる。 ・水質検査、「保健だより」の発刊以外に、ゴミの分別・減量などの活動を、生徒保健委員会を中心にして学校全体で取り組めるようにする。 ・熱中症を始めとする安全指導の充実をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常清掃、大掃除は職員・生徒の協力の下計画通り実施できた。スノコ清掃は体育館の耐震改修により実施できなかったがその他の活動は計画通り実施できた。 ・長期休業中や休日のゴミの分別が不十分であった。他校からの来訪時に顧問の先生を通じて本校のルールを伝えることで対応していきたい。 ・生徒保健委員会のゴミの分別・減量への取組を学校全体に広げる工夫をいきたい。 ・部活動のリーダーを対象に熱中症を中心とした安全講習会を実施し一定の効果をあげている。

被服科	<p>①知識・技術の習得と創造力・実践力の育成</p> <p>②地域社会に貢献する人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校内外における研修や講習を通して、新しい時代に適応できる創造力や実践力を養成する。 ・ 社会人講師による講習会やインターンシップ等を通じて感性を磨き、地域社会の求める資質及び能力の向上を図る。 ・ 地域の行事等に参加することにより、教育の成果を地域に還元する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種コンテストへの挑戦や校内外での研修を通じ、新しい時代の求める能力を高めさせることができた。今後も機会を活かし、充実した講習の計画をしたい。 ・ 地域社会からの要請や交流の機会に恵まれ、意欲的な取り組みで、幅広い人間性の充実と貴重な経験ができた。又、教育の成果を還元する機会を得ることもできた。今後は校内外での教育活動を更に充実させていきたい。
行事・PTA 活動（総務部）	<p>①行事の充実と精選</p> <p>②学習環境の整備</p> <p>③学校と保護者との協力体制の確立</p> <p>④広報活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各分掌や学年との連絡を密にし、問題点や反省点を確認する。 ・ 年3回の定期安全点検を中心に危険箇所を把握し、庶務と連携をとり速やかに対処していく。 ・ P T A総会、P T A理事会、保護者会を通して、保護者の意見や要望を把握する。 ・ ホームページを通して学校の活動を広く公開する。 ・ 学校要覧の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各行事における各教員の動きを明確にし、動きやすいうように努めた。 ・ 校内の危険箇所や不具合の発生には、庶務部との連絡を密にし、迅速に対処することができた。 ・ P T A役員・理事との情報交換がしやすい環境を調えるよう努力した。今後もその環境の充実を図りたい。 ・ ホームページの更新は随時行ってきた。今後は、内容の充実にも努めたい。 ・ 学校要覧の視覚情報を増やし、より見やすいものにした。
総合評価	<p>具体的方策に対する取組は、前年度の評価結果に基づいて全体として改善が図られているが、成果としてはまだ不十分なものもあるので、来年度に向けて問題点を把握し、検討していく必要がある。</p>		